

自己紹介

- 梶谷勇
- 国立研究開発法人産業技術総合研究所人間拡張研究センター
 - 産総研柏センター（TX柏の葉キャンパス駅付近）
- （松江東高校 4 期卒業生）

主な研究内容（介護ロボット 関連）

- AMED事業「ロボット介護機器開発等推進事業（環境整備）」
 - 2021～2024年度：安全基準ガイドライン策定
 - 2021～2023年度：海外展開等に向けた臨床評価ガイダンス等の策定
- SOMPO-産総研RDP連携研究ラボ
 - 2022年4月～：介護Techの評価手法の確立
- 厚労省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム」事業
 - 2020年8月～：柏リビングラボ

連携の可能性

- 介護ロボットの開発、評価から導入まで
 - 相談に対応します
 - 研究にならない話でも対応します
- 非医学系・医学周辺領域の倫理審査
 - 相談に対応します



ロボット介護機器臨床評価ガイドンス (国内展開企業向け、第一版)

2023年3月 **2024年3月第二版公開**

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

ロボット介護機器開発等推進事業 (環境整備)

1. 施設に伝える内容の準備	1-1 先行事例・研究を確認する 1-2 評価の目的を介護現場に伝える準備をする 1-3 介護現場に依頼する評価内容の説明を準備する 1-4 評価対象の製品について介護現場に伝える準備をする
2. 評価を実施する体制の構築	2-1 自分たちだけで悩まずに、詳しい人に相談する 2-1-(1) 研究者に会いに行く 2-1-(2) 相談事業等を活用する 2-2 協力してくれる介護現場を探す 2-3 介護現場との協力関係や信頼関係を構築する
3. 評価内容の計画	3-1 評価に参加する人に配慮した評価計画を作成する 3-2 評価を構造化する (構成要素を明らかにする) 3-3 評価計画を計画する上での基本的ポイントに注意する 3-4 介護現場での記録・測定が実施可能であるかを確認する
4. 評価の実施～結果の活用	4-1 介護現場に評価依頼内容を説明する 4-2 計画通りに進んでいることを確認する 4-3 評価結果の活用する



お問い合わせ先

ロボット介護機器開発等推進事業（環境整備）
－海外展開等に向けた臨床評価ガイドンス等の策定
国立研究開発法人産業技術総合研究所内
事務局：robot-kaigokiki-pj-contact-ml@aist.go.jp

介護ロボットポータルサイトから
ダウンロードできます。

介護ロボットポータルサイト（事業成果）
<https://robotcare.jp/jp/outcomes/index>

2024年3月第二版公開



New design! Demand publishing

事例で学ぶ 人を扱う工学研究の 倫理

その研究、大丈夫？



近代科学社 Digital

著者：福住 伸一
Shin-ichi Fukuzumi
西山 敏雄
Toshiaki Nishiyama
梶谷 勇
Yuuji Kajiyama
北村 尊義
Takayoshi Kitamura

ヒューマンインタフェース学会倫理WG
の議論がベース

非医学系分野事例ベースの解説やノウハウ

非医学学系の立場から見たQ&A

例

『相談する相手によって言うことが違うので困ってしまうのですが、どうすればいいですか？』

『工学系の研究は研究倫理教育で例示されるような非人道的な研究ではないので、倫理審査は不要ですよ？』

https://www.kindaikagaku.co.jp/book_list/detail/9784764960480/